

新しいはじまりを、
さあ、いっしょに。



100 川崎市市制100周年記念事業記録誌 Colors, Future! Actions Record



川崎市市制100周年記念事業記録誌

Colors, Future! Actions Record



新しいはじまりを、さあ、いっしょに。

COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



川崎市市制100周年記念事業・
全国都市緑化かわさきフェア
実行委員会会長

川崎市長 福田紀彦

大正13(1924)年に川崎町と大師町、御幸村の2町1村の合併により人口約5万人の市として誕生した川崎市は、人口155万人を擁する大都市に成長し、多彩な魅力を持つ都市として、今なお成長を続け、令和6(2024)年7月1日に市制100周年という歴史的な節目を迎えました。

この輝かしい歴史的な節目は、本市が誇るべき100年の歴史を振り返り、先人の努力や功績に深く感謝しながら、川崎の発展の礎である、様々な人々や新しい文化をあたたく受け入れ育んできた「多様性」という価値を改めて多くの皆さまと共有し、次の100年へとつなげていく素晴らしい機会となりました。

また、市の発展に寄与された方々への表彰や特別編成されたオーケストラと合唱団による記念演奏を行った「市制100周年記念式典」、市制100周年の象徴的事業として、全国で初となる「秋」・「春」の2期で開催した花と緑の祭典「全国都市緑化かわさきフェア」をはじめとした様々な記念事業を通じて、市民の皆さまと喜びを分かち合うことができたことに心から感謝を申し上げます。

市制100周年を契機に、多くの方々に改めて川崎を「知って、関わって、好きになって」いただけるよう、令和6(2024)年度の1年間を通じて、市民・企業・団体の皆さまとともに市内全域で展開した記念事業は、市のブランドメッセージが表す「多様性を認め合い、つながり合うことで、あたらしい魅力や価値を生み出すことができるまちを目指していく」ことを、まさに体现するものとなりました。いろいろな人が集まる川崎だからこそ、一人ひとりの「色」があかるく、あざやかに重なり合い、様々な主体が、様々な形で主役となる多様で多彩なアクションが次々と生み出されたのだと思います。

この「川崎市市制100周年記念事業記録誌 ～Colors,Future!Actions Record～」では、令和5(2023)年度のプレ事業期間から2か年にわたり市制100周年記念事業として実施されたすべての事業を紹介するとともに、記念事業に関わってくださった方々に、関わりの中で感じたことや次の100年に向けた川崎への思いなどを語っていただきました。ぜひ、手に取ってご覧いただき、市制100周年に関わった一人ひとりの「色」によって、あたらしい川崎が生み出され、希望に満ちた未来への可能性が広がっていることを感じていただければ幸いです。

「多様性」をまちの価値として「可能性」にして発展してきた川崎市。これからも「多様性」をまちの誇りとして、さらにその輪を広げ、「100周年記念事業を契機として生まれた多彩な事業」、「自らまちに関わり、まちを盛り上げる市民・企業・団体等とのつながり」、「川崎を知って、関わって、好きになり、向上したシビックプライド」をレガシーとして取組を推進し、様々な人たちが川崎に「愛着」と「誇り」を持ち、つながりあいながら未来にチャレンジできるまちづくりに挑戦し続けてまいります。

川崎を「知って、関わって、好きになる」市制100周年記念事業の概要 4

市制100周年記念式典・記念表彰受賞者 7

かわさき飛躍祭 13

Colors,Future! Summit 2024 15

みんなの川崎祭 19

ここから未来プロジェクト 21

かわさき脱炭素プロジェクト 22

みどりの共創プロジェクト 23

まんなかフェス2024 24

子どもの力で川崎の未来を変えるプロジェクト 24

未来っていいな★まつり ～夢を集めて川崎100周年～ 25

市制100周年記念事業のレガシー 26

市制100周年実行委員会共同事務局 座談会 27

第41回 全国都市緑化かわさきフェア 29

これからの100年を担う若者たちの取組 31

川崎市主催事業 33

実行委員会参画団体主催事業・パートナー主催事業 35

かわさきスペシャルサポーターのキセキ 2022-2025 37

民間企業出向職員 座談会 39

市制100周年を彩った全記念事業の記録 41

市制100周年記念事業一覧 102

市制100周年の広報・プロモーション 121

記念事業の経過 133

川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会の組織 134

実行委員会幹事メッセージ 135

実行委員会参画団体一覧 137

川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア 協賛企業・団体 141

事務局長謝辞・事務局職員メッセージ 145

これからはじまる
Colors, Future! Actions
さあ、いっしょに。

100th



2024年、川崎市は市制100周年

川崎を「知って、関わって、好きになる」市制100周年記念事業の概要



1 基本理念

川崎市は、多様なバックグラウンドや価値観、能力を持つ人たちが、共に暮らし、働き、そして互いに認め合い、支え合い、高め合うことで発展してきました。

市制100周年という歴史的な節目に、先人の努力や功績に感謝し、時代とともに変貌してきた川崎市のこれまでのあゆみや歴史・文化を知り、川崎市の発展を支えてきた「多様性」の価値を改めて共有し、市民に「愛着」と「誇り」を持っていただく機会とします。

さらに、将来にわたって、誰もが暮らしやすい笑顔あふれる「最幸のまち」へとつなげていくため、この契機を未来に向けた活力ある「あたらしい川崎」を生み出していく新たなスタートラインとします。

2 基本方針

川崎市ブランドメッセージへの共感を喚起する。

川崎市ブランドメッセージは、川崎市の多彩な魅力を一言で表現し、都市の将来像を示すものとして、平成28(2016)年に策定し、市制100周年を見据えて活用してきました。

市制100周年を「あたらしい川崎」を生み出していく新たなスタートラインとするために、ブランドメッセージに込められた「多様性を認め合い、つながり合うことで、新しい魅力や価値を生み出すことができるまちを目指していく」という意味を、「多様性」を可能性にして発展してきた川崎市の歴史を振り返りながら、市民の共感を喚起し、改めて共有します。

新たな100年に向けて、文化として根付くムーブメントを起こす。

川崎市が誇る魅力や価値などを、市制100周年を契機にさらに発展させるため、さまざまな分野において、市民、企業、団体等と協働・共創して多様なアクションを進めて全市的なムーブメント(行動)を起こし、将来のよりよい文化にしていきます。

特に「みどり」分野については、これまでの歴史や強み等を振り返りながら市民の皆さんと一緒に考えて行動し、新たな文化を醸成するきっかけとして、令和6(2024)年度に「全国都市緑化かわさきフェア」を開催し、「川崎らしいみどり」を発信します。

市民一人ひとりのシビックプライドを醸成する。

川崎市が市民にとって安心で居心地のよい場所となるよう、記念事業を川崎市が誇る魅力や価値などに触れて再認識する機会とし、市民に参加や関わりを促すことで、シビックプライド(川崎への愛着と誇り)の醸成を図ります。

3 コンセプト

川崎市ブランドメッセージに込められた意味が、「あたらしい川崎」を生み出していくという市制 100 周年記念事業を体現することから、記念事業のコンセプトを「Colors, Future! いろいろって、未来。」と決めました。コンセプトの実行による未来の可能性の場づくりをしていくことで、さまざまな活動や価値が生まれ、この先100年に向けた川崎市の成長の機会にします。

Colors, Future!

いろいろって、未来。

多様性は、あたたかさ。多様性は、可能性。
川崎は、1色ではありません。
あかるく、あざやかに。重なり合う。
明日は、何色の川崎と出会う。
次の100年へ向けて。
あたらしい川崎を生み出していこう。



川崎市

4 記念事業ロゴマーク

記念事業のコンセプトを実行していくことを「Colors, Future! Actions」と名付け、さまざまな記念事業を生み出します。

ロゴマークを制作し、記念事業のシンボルとして広くPRするとともに、ステートメントを設定して多様で多彩な「Action」を記念事業で生み出していくための想いを共有します。

※企業・団体等のロゴマーク申請件数:299件

COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



川崎のどこが好きですか。

お気に入りの場所。ほっとするまちの仲間。
ひとりひとりの“好き”をつなぎ、かけ合わせて、
いっしょに川崎を育てていこう。

このまちに暮らし、このまちを発展させてきた
たくさんの人たちに感謝を抱きながら、
あたらしい川崎を未来の人たちへとつないでいこう。

いろいろな人たちが集まる川崎だからこそ、
多様で多彩なアクションを、つぎつぎと。

100年目の川崎市ではじまる Colors, Future! Actions。
“好き”があふれるまちづくりを、さあいっしょに。

5 川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会

市制100周年の歴史的な節目に、さまざまな企業、団体等、約400団体で構成する「川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会」を設立。市制100周年の象徴的な事業として実施した「全国都市緑化かわさきフェア」と合同の実行委員会により、オール川崎市での取組を一体的に展開しました。

6 記念事業実施期間

記念事業は、市制100周年の市制記念日を含む年度である令和6(2024)年4月1日から、令和7(2025)年3月31日にかけて実施しました。

令和5(2023)年度は、準備期間として、「プレ事業」を実施しました。

2024年4月1日～2025年3月31日

7 15のアクションテーマ

川崎に関わるさまざまな主体が、「より川崎がよくなる」「より川崎を好きになる」ことにつながる取組として、自分ならどんなActionができそうか企画・検討しやすくするための“目印”を15個の「Actionテーマ」として設定しました。



ACTION 01
グリーン・コミュニティ



ACTION 02
ブランディング



ACTION 03
ビジネス・インキュベーション



ACTION 04
ネクストジェネレーション



ACTION 05
名物フード



ACTION 06
チアアップ



ACTION 07
ナイトタイムエコノミー



ACTION 08
サステナブル



ACTION 09
イベント・祭



ACTION 10
Well-being



ACTION 11
グローバル



ACTION 12
アート&ミュージック



ACTION 13
スポーツ



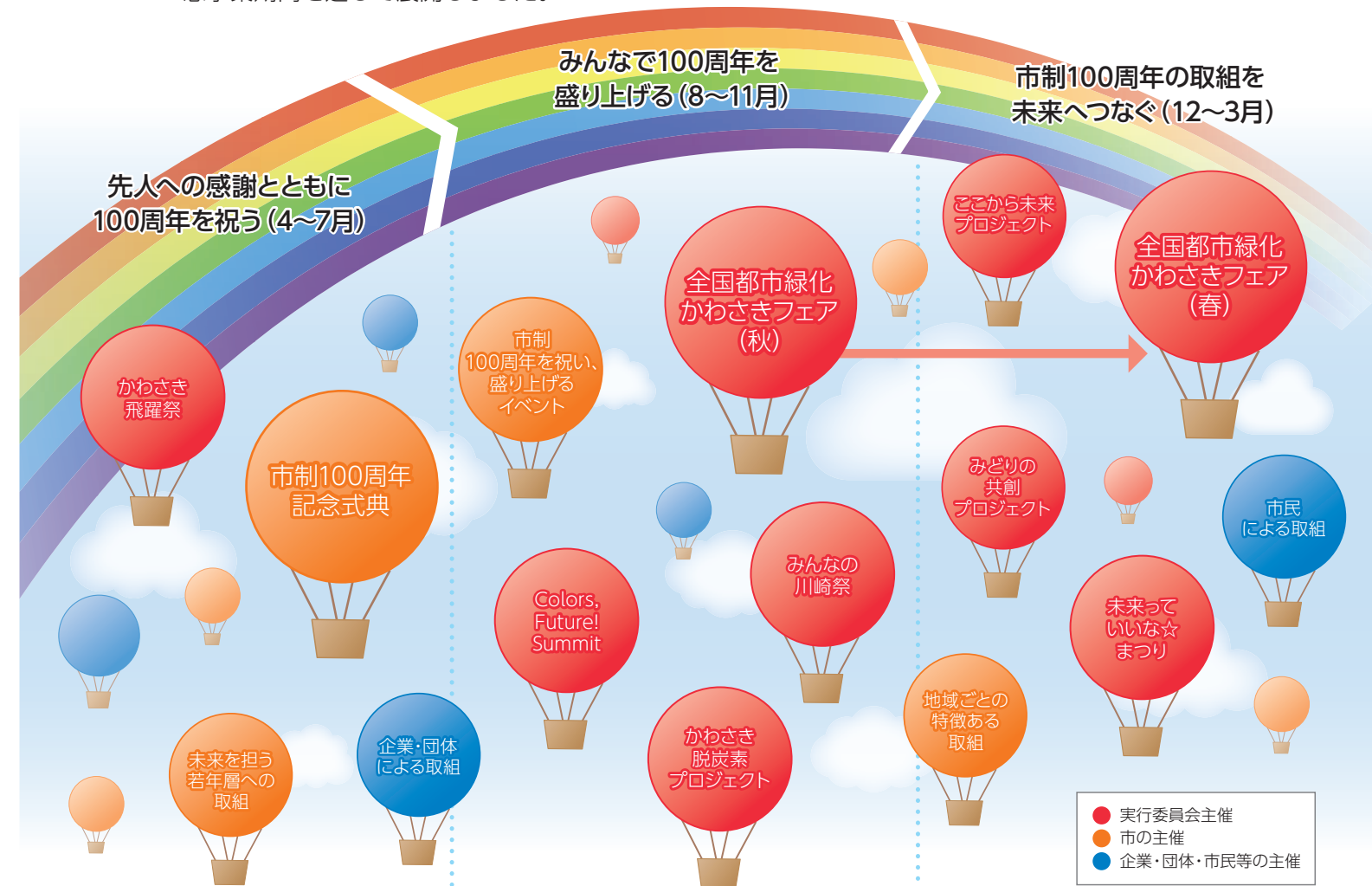
ACTION 14
学び



ACTION 15
安全・安心

8 各主体による記念事業の展開

記念事業を先導した「実行委員会主催事業」をはじめとして、実行委員会に参画する団体や記念事業の趣旨に賛同する多くの方々とともに、改めて川崎を「知って、関わって、好きになる」多様で多彩な取組を、記念事業期間を通じて展開しました。





市制100周年記念式典

日時:2024年7月1日〔月〕14時~16時
会場:ミューザ川崎シンフォニーホール 出席者数:約1,900名

100周年の市制記念日をむかえた2024年7月1日に開催した「市制100周年記念式典」では、本市と関わりの深い国内外の友好都市の方や、御招待した市民の皆さまなど、多くの方々と一緒に、市制100周年を迎えた喜びを分かち合いました。市の発展に寄与された228組の方を表彰するとともに、プロアマ混成のオーケストラと、多世代で構成された合唱団がコラボレーションした約520名による記念演奏を行うなど、川崎市の発展の礎である多様性を体現した式典となりました。

- 記念式典 式次第 ———
- 開式
オープニング/パイプオルガン演奏
演奏:松居 直美
 - 市制100周年記念映像の上映
 - 式辞:川崎市長 福田 紀彦
 - 来賓祝辞:川崎市議会議長 青木 功雄
 - 市制100周年記念表彰式
国歌・市歌斉唱
伴奏:大木 麻理 指揮:中村 拓紀
斉唱:桐光学園中学高等学校合唱部
 - 市政功労賞等贈呈
 - 市制100周年記念オーケストラ・合唱団による記念演奏
 - 記念写真撮影
 - 閉式



記念表彰受賞者の声

Colors,Future! 賞 まちびらき隊さん

記念表彰では、多分野において長きにわたり、特に顕著な功績があった斎藤文夫氏、藤嶋昭氏、山田長満氏に特別市政功労賞を贈呈したほか、市政功労賞、未来賞、Colors,Future!賞の各賞の表彰を行いました。受賞者の中から、あたらしい川崎を生み出していくことが期待される小・中・高校生を対象とした「Colors,Future!賞」を受賞した「まちびらき隊」に、表彰を受けた思いなどをお聞きました。

SDGsの担い手!「川崎から世界へこどものSDGs活動を発信したい」

川崎駅東口の繁華街にある東田公園を活動拠点に、公園清掃や緑化活動などに取り組んでいる「まちびらき隊」は、中学生から大学生までの約35人が隊長として活動・運営しています。市制100周年記念式典では「Colors, Future! 賞」を受賞し、「非常に光栄。これからも小さな子と学生による川崎のより良いまちづくりのために頑張りたい」と意気込みを新たにしています。

2024年度には、川崎区役所と協働した「子どもまちびらき大作戦」において、区内の小・中学生を対象に「まちがもっと良くなる」ためのアイデアを募集し、隊長のみならず、小さな子どもたちの発案したアイデアをもとに多くのイベントを実施してきました。アイデアの多くはSDGsに関連しており、川崎でSDGs活動を行っている企業を訪問する「SDGsツアー」や、SDGsを楽しみながら意識できる「SDGs縁日」を開催しました。クリスマスには、子ども向け

に楽しく節電できるキャンドル作りイベント「節電作戦」を行い、隊員(小学生)が講師を務めることで、人に教える体験を通じて自己成長にもつなげました。2025年度は、「まちびらき通信」を小学校などに配布し、自分の提案が実現し、川崎は子どもの提案が叶うまちであることをアピールする予定です。また、市制100周年記念事業の象徴的な取組である全国都市緑化かわさきフェアに向けて、コア会場の富士見公園周辺にパンジーやビオラをみんなで植えて、まちなかを花で彩りました。

「Colors,Future!賞」を受賞した「まちびらき隊」が目指す「あたらしい川崎」の創出に向けた夢は、「川崎から世界へ子どものSDGs活動を発信すること」です。その夢の実現に向けて、これからも誰もが住みやすい社会を目指しSDGs達成の担い手として活動を続けていくそうです。



まちびらき隊の隊長たち



市制100周年記念品「オリジナルペンホルダー」に込めた思い

高津工友会青年部「タカツクラフト」さん

記念式典の来場者には、市制100周年記念品のオリジナルペンホルダーが配付されました。ペンホルダーの中央には約100年にわたり川崎臨海部で鉄づくりを継続してきたJFEスチール株式会社(旧日本鋼管)の溶鉱炉で造られた最後の鉄が埋め込まれています。記念品を企画・製作した高津工友会青年部「タカツクラフト」に、製作過程や記念品に込めた思いを伺いました。

川崎のものづくり企業の技術を結集!「オリジナルペンホルダー」

「タカツクラフト」は、高津区の町工場を中心に、各企業の技術を結集させ、1社では解決が難しい事業へ対応し、小規模なものづくり企業の販路拡大を目的に新設されたプラットフォームです。市内のキムチ製造販売業者の特製キムチボットを手掛けた実績などから、市制100周年記念式典の記念品の企画・製作の相談がありました。

コンセプトに掲げられたのは「川崎らしさ」「一つのことを皆で分かち合う」「この場でしか手に入らないもの」。JFEスチール株式会社東日本製鉄所京浜地区に御協力いただき、2023年9月に高炉を休止した際の最終稼働日に製造した鉄の使用が決まりました。市の担当者とは何度も打合せを行い、限りある鉄を最大限活用できるように小さなプレート状に切り出し、錆びないようにするため樹脂に埋め込むことが最適と判断。その上で実用性も兼ね備えたものとしてペンホルダーを製作することに決まりました。

合成樹脂のレジンに型に流し込む工程には、子育て中のママ集団「川崎区盛り上げ隊!」が協力。展示販売会で知り合った同隊は、その時、金属のかけらをレジンに入れたアクセサリを製作・販売していました。タカツクラフトメンバーの小川清孝さんによると「力になってもらいたい」と相談したのは「納品まで半年を切っていた2024年1、2月頃だった」とのこと。

試作を始めた当初は、レジンの中に気泡が入ってしまった。レジンを通した表面に微細な凹凸があったことから表面がくすんでしまうなど、製品としての品質が低かったそうです。極限までツルツルに磨いたマスターから型を作成するなどの改良を重ね、本体は透き通った綺麗なものになりましたが、気泡はなかなか消えず四苦八苦。試行錯誤の結果、最終的には「真空脱泡装置」を用いて空気を抜くなどによりほとんど気泡が目立たないとても美しいものになりました。埋め込む金属プレートには、市のブランドメッセージをレーザーで緻密に刻印。こうして試作品が完成しました。その後、量産にあたっては株式会社共和工業(川崎区)の協力で作業場所を確保することができ、本当にいろいろな方々の協力により、ペンホルダーが完成しました。

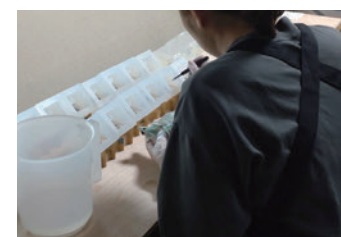
タカツクラフトは2024年12月26日に組織化し合同会社となり、メンバーの渡邊敬太さんが社長に就任しました。メンバーの三枝宏徳さんは「タカツクラフトを通じて川崎を仕事でいっぱいになりたい」と強調。小川さんは「一般消費者に商品を提供するBtoCの開発を手掛け、全国区の知名度となるような大きなプロジェクトにも取り掛かりたい」と夢を描いています。タカツクラフトは、これからの100年も「ものづくりのまち川崎」の価値をさらに高める取組を進めていくそうです。



「100周年記念ペンホルダー」



タカツクラフトの小川清孝さん(左)と三枝宏徳さん(右)



一つずつ手づくりで製作



市民が奏でるハーモニー 川崎市の未来へ

市制100周年記念オーケストラ・合唱団による記念演奏



【座談会参加者(左から)】

公益財団法人東京交響楽団 桐原 美砂さん
宮前フィルハーモニー交響楽団 荒井 麻梨子さん
昭和音楽大学 岡野 皓太さん
洗足学園音楽大学 及川 優羽さん
川崎市合唱連盟事務局長 中山 寛隆さん

桐原さんと中山さんは企画担当として参加されたんですね

桐原さん：東京交響楽団の企画制作担当として市の方々の要望などを聞きながら、どうすればより良い演奏を実現できるかなど全体構成の提案や、限られた時間の中でのスケジュール管理などを担当しました。

中山さん：川崎市合唱連盟の事務局長を務めていますが、市からの依頼を受けて初期の段階から全体構成や選曲に携わせてもらったほか、合唱団の募集～練習までをとりまとめました。桐原さんとは企画段階のときからずっとメールで連絡を取り合って、準備を進めてきました。当日は裏方としてかけずり回りながら、合唱団の一員としても参加しました。

練習はいつから始めたのですか

中山さん：本番約2か月前の4月末から月に1、2回の練習を重ねました。毎回300人以上のメンバーが参加し、楽譜配りや席の案内など合唱連盟理事もフル稼働で動いてくれました。参加者の年齢は小学1年生から上は80歳代までと幅広く、合唱経験も初めての方から、歌い慣れている方までさまざまでした。それこそ「好きです かわさき 愛の街」は、「空で歌えます」という人も結構いましたね。



記念式典での演奏のために特別編成された「市制100周年記念オーケストラ・合唱団」。川崎市のフランチャイズオーケストラ東京交響楽団を中心に、市内の音楽大学である洗足学園音楽大学と昭和音楽大学、そして市内アマチュアオーケストラで編成された約120名のオーケストラと、川崎市合唱連盟の皆さんや市民公募メンバーで編成し、本番まで練習を重ねてきた約400名の合唱団の歌声のハーモニーがミュゼ川崎シンフォニーホールに響き渡りました。

川崎の「多様性」が「可能性」であることを体現するシーンを生み出した関係者の皆さんに記念演奏を振り返ってもらいました。

記念演奏曲目

(バーンズ 作曲/ 和田薫 編曲) マーチ・かわさきのねいろ
(菅野由弘 作詞・作曲) 世界中から こんにちは そして ありがとう
(ラヴェル 作曲/芸術村あすなろコーラス 加筆) ポレロ
(肥後義子 作詞/石本美由起 補作/山本直純 作曲/山本純ノ介 編曲) 好きです かわさき 愛の街
指揮：秋山 和慶(ミュゼ川崎シンフォニーホール チーフ・ホールアドバイザー)
ピアノ：小川 典子(ミュゼ川崎シンフォニーホール ホールアドバイザー)
市制100周年記念オーケストラ・合唱団(約520人)

皆さんが記念演奏に参加されたきっかけは

荒井さん：所属する市民オーケストラの団長に声をかけてもらいました。生まれも育ちも川崎市民なので、100周年のお祝いに参加したいと思い応募しました。

岡野さん：学校でオーケストラ募集のお知らせがあり、出演を希望しました。大学4年生の頃から東京交響楽団の近藤千花子先生に師事しているのですが、ずっと憧れの先生で大ファン。その近藤先生の隣で吹けることも嬉しくて、ワクワクしていました。

及川さん：岡野さんと同じで、学校から募集のお知らせがあり参加することになりました。実は、記念演奏をきっかけに市制100周年ということを知りました。出身は山形県ですが、川崎市に住むことになり、いろいろな人と関わりやすくなりが増えて川崎が好きになっていきました。その川崎市が100周年ということを知ったので、ぜひ参加させていただきたいと思いました。

初めて合わせた時の手応えはいかがでしたか

中山さん：「好きです かわさき 愛の街」は、よく知っている歌なので最初からとても良かったのですが、やっぱり「ポレロ」はメロディを知っていても皆さん歌ったことがなくて、「どう歌えばいいんだろう」と戸惑っている方もいました。「世界中から こんにちは そして ありがとう」は、掛け声や音程、リズムなどが本当に難しい曲でした。

桐原さん：皆さん苦労されていましたよね。言葉も日本語だけじゃないので、知らない言葉をカタカナで見て、リズムに合わせて歌うのは、結構ハードルが高いことだと思います。

中山さん：「こんにちは、ハロー♪」までは皆さんできるんですけど、そこから先は「これは何て読むんだろう？」というところからのスタートでしたね。

オーケストラはいかがでしたか

桐原さん：市民参加の皆さんはお仕事や学校、所属するオーケストラの練習もあるので、このためのリハーサルは一度だけ。合同練習はとにかく人数が多く、席の前後で音や声の時差もありますし、手こずる場面もありました。

岡野さん：ポレロのソロパートが決まっていなかった場所があって、練習の直前に楽団の方が学生に「吹いてみたら？」と声をかける場面がありました。声をかけられた学生もすごく驚いていたんですが、緊張を感じさせない素晴らしいソロ演奏をやり遂げました。東京交響楽団の方には、初対面のときからフランクに話しかけていただき、打ち解けた雰囲気でも練習することができました。



当日のホールの風景はどのように映りましたか

及川さん：ミュゼでの演奏は初めてでしたが、とても壮大で圧倒されました。達成感のある演奏になりました。

岡野さん：前には満員のお客さん、自分の後ろにも合唱団がいるという、いつもとは違うとても壮大な景色が見られました。

荒井さん：合唱団の皆さんが身に着けていた三原色のバンダナがかわいかったです。あと、多くの方が会場に来られていたので、「知っている人がいないかな」と思わず会場を見渡していました。



「音楽のまち・かわさき」が始まって20年。街中には音楽が溢れ、市民の中にも音楽を楽しむ気持ちが大きく育っています。今回の記念演奏は川崎市が掲げる「多様性」を体現する特別なステージとなりました。

本番を終えてみての感想は

荒井さん：練習やリハーサルよりも、本番が一番よくできました。市民オーケストラの一員として、練習の成果を発揮することができたと思っています。

岡野さん：演奏を終えて客席を見ると、笑顔で大きな拍手をしてくださる方がたくさんいらっちゃって、とても和やかな気持ちになりました。自分もこの100周年という記念の節目をお祝いできたことがとてもうれしかったです。

及川さん：リハーサルでは遅れてしまうこともありましたが、本番はなんとか決めることができました。本番前には東京交響楽団の方も含めてトランペットパートのみんなで食事をするもありました。また、昭和音大の方と連絡先を交換したり交流したりできたので、本当に素敵な機会だったなと思っています。

桐原さん：当日は皆さんテンションも集中力も高く、素晴らしい演奏を披露してくれました。リハーサルではうまくいかなかったこともありますが、本番に向けて調整を重ねてきたことが必然の結果につながったのだと思います。

中山さん：合唱団は歌い慣れている方も、まったくの初めての方もいましたが、練習を重ねるうちに自信をつけて本番に臨むことができたように感じます。当日は総勢520人が一体となり、本番の楽しさを感じながら合唱できたと思います。また、記念演奏後には、初めて合唱を始めたメンバーの中に「これからも合唱を続けたい」と言うてくださった方がおり、合唱文化の今後につながるうれしい反応がありました。

記念演奏に参加されてみて、得たものは

及川さん：今回をきっかけにつながりも増えたり、市民の皆さんが音楽に関心があると感じました。今後もほかの団体や学校の方と関われる機会があれば、ぜひ参加したいです。

岡野さん：今まで洗足学園の方とは関わりがありませんでしたが、この機会に交流を深めることができました。リハーサルと当日の2日間で、人間関係が大きく広がりました。川崎にある音大同士、再び一緒に演奏する機会が持てたらいいなと思います。川崎市は音楽・芸術を応援してくれている存在。これからも発展していくことを楽しみにしています。

荒井さん：ほかのオーケストラの方とはなかなか交流することが少ないので、いい機会になりました。またこういった機会があったら出演したいです。

桐原さん：市内でも「多様性」をキーワードにさまざまなプロジェクトが企画されていますが、今回の記念演奏は、まさにそれを象徴するプログラムになったと思います。さまざまな制約がある中で、ありとあらゆる人にステージに参加してもらうのはとても難しいことでしたが、皆さんの持ち味をいかすことができましたし、これからも、もっともっとできることがあると手ごたえを感じています。参加者同士でつながりができたり、音楽を続けたいという声が聞けたりしたことはとてもうれしいです。また、市職員の皆さんの熱量が高く、「一緒にいいものをつくっていく」という思いが感じられ、とても心強かったです。音楽の力で川崎市がますます発展していくことを期待しています。



川崎市市制100周年記念表彰受賞者

(敬称略・五十音順)

特別市政功労賞

齋藤 文夫
藤嶋 昭
山田 長満

市政功労賞

文化・スポーツ分野

麻生区文化協会
石川 勝之
一般財団法人川崎沖縄県人会
一般社団法人日本競輪選手会神奈川支部
稲田郷土史会
NEC レッドロケッツ川崎
垣内 宣子
学校法人神奈川映像学園 日本映画大学
学校法人洗足学園
学校法人東成学園（昭和音楽大学）
株式会社川崎フロンターレ
株式会社 DeNA 川崎ブレイブサンダース
川崎区文化協会
川崎市アマチュアオーケストラ連盟
川崎市合唱連盟
川崎市茶華道協会
川崎市スポーツ推進委員連絡協議会
川崎市文化協会
川崎市レクリエーション連盟
川崎・しんゆり芸術祭実行委員会
川崎吹奏楽連盟
川崎文化会議
神崎 順
菊地 正
公益財団法人川崎市スポーツ協会
公益財団法人東京交響楽団
幸区文化協会
下八川 共祐
成 七龍
多摩区文化協会
東芝ブレイブアレウス
特定非営利活動法人しんゆり・芸術のまちづくり
特定非営利活動法人高津区文化協会
中原区文化協会

富士通フロンティアーズ
富士通レッドウェーブ
宮前区文化協会

地域振興・まちづくり分野

麻生歴史観光ガイドの会
一般社団法人神奈川県建築士会川崎支部
一般社団法人神奈川県測量設計業協会川崎支部
一般社団法人神奈川県タクシー協会川崎支部
一般社団法人神奈川県バス協会
一般社団法人川崎建設業協会
一般社団法人川崎市空調衛生工業会
一般社団法人川崎市弘済会
一般社団法人川崎市電設工業会
一般社団法人川崎青年会議所
一般社団法人川崎塗装業協会
神奈川県個人タクシー協会
株式会社アサヒ
株式会社高木商會
株式会社 チッタ エンタテインメント
株式会社ちゃいなび
株式会社富士通ゼネラル
株式会社横浜銀行
川崎市管工事業協同組合
川崎市交通安全母の会連合会
川崎市少年消防クラブ運営委員会
川崎市消防団長会
川崎市全町内会連合会
川崎市造園建設業協同組合
川崎市防火協会連合会
川崎市防犯協会連合会
協同組合川崎市建築家の会
黒江 乃理子
特定非営利活動法人ピープルデザイン研究所
藤沢 昭和
宮前区区民活動支援コーナー利用者会運営委員会
宮前まち倶楽部
村田 典子

産業振興分野

一般社団法人神奈川県警備業協会川崎支部
一般社団法人神奈川県情報サービス産業協会
一般社団法人神奈川県ビルメンテナンス協会川崎支部

一般社団法人川崎市観光協会
一般社団法人川崎市商店街連合会
一般社団法人川崎ゼロ・エミッション工業団地
片岡 一則
神奈川県中小企業家同友会川崎支部
神奈川県中小企業家同友会たま田園支部
川崎港運協会
川崎工業振興倶楽部
川崎市技能職団体連絡協議会
川崎市計量協会
川崎市工業団体連合会
川崎市中央卸売市場 北部市場協会
川崎商工会議所
川崎信用金庫
川崎地域連合
川崎の産業観光を支援する会
かわさきマイスター友の会
川崎労働者福祉協議会
公益財団法人実中研

公益財団法人東京応化科学技術振興財団
公益社団法人神奈川県宅地建物取引業協会川崎北支部
公益社団法人神奈川県宅地建物取引業協会川崎中支部
公益社団法人神奈川県宅地建物取引業協会川崎南支部
公益社団法人川崎北法人会
公益社団法人川崎港振興協会
公益社団法人川崎西法人会
公益社団法人川崎南法人会
セレサ川崎農業協同組合
農の協力会

環境保全分野

麻生多摩美の森の会
生田緑地マネジメント会議
海風の森を MAZU つくる会
柿生の里クラブ
株式会社ノジマ
川崎温暖化対策推進会議（CC 川崎エコ会議）
川崎市一般廃棄物処理業連絡協議会
川崎市廃棄物減量指導員連絡協議会
かわさき水辺の楽校
さいわい加瀬山の会
だいいし水辺の楽校
高津区市民健康の森を育てる会

多摩区市民健康の森 日向山うるわし会
特定非営利活動法人アクト川崎
特定非営利活動法人多摩川エコミュージアム
特定非営利活動法人多摩川干潟ネットワーク
特定非営利活動法人水・防災機構
とどろき水辺の楽校
水沢森人の会

福祉・保健衛生分野

青木 文子
あさお運動普及推進員の会
一般社団法人川崎市自閉症協会
一般社団法人川崎市食品衛生協会
一般社団法人川崎市助産師会
一般社団法人川崎市鍼灸マッサージ師会
一般社団法人川崎市薬剤師会
粕賀 廣洋
かわさき子どもの権利フォーラム
川崎市あゆみの会
川崎市育成会手をむすぶ親の会
川崎市栄養士会
川崎市更生保護女性連絡協議会
川崎市肢体不自由児者父母の会連合会
川崎市食生活改善推進員連絡協議会
川崎市福祉サービス協議会
川崎市保護司会協議会
川崎市民生委員児童委員協議会
川崎市老人福祉施設事業協会
川崎浴場組合連合会
九城企業株式会社
公益財団法人川崎市身体障害者協会
公益社団法人神奈川県柔道整復師会川崎支部
公益社団法人川崎市医師会
公益社団法人川崎市看護協会
公益社団法人川崎市歯科医師会
公益社団法人川崎市獣医師会
公益社団法人川崎市病院協会
小林 明正
社会福祉法人川崎市社会福祉協議会
宗教法人光明院
すくすく子育てボランティア「パンビ」
高橋 恵
多胎児育児ボランティア「ピーナッツ」
舘 勝宏
多摩区認知症キャラバンメイトの会たまのわ
東洋ロザイ株式会社
特定非営利活動法人川崎市障害福祉施設事業協会
特定非営利活動法人川崎市精神保健福祉家族会連合会あやめ会

多瀬しらゆりの会
認定特定非営利活動法人すずの会
はなみずきの会
林 リツ子
福田 武雄
保育ボランティアグループ にじの会
明治安田生命保険相互会社
ユースキン製薬株式会社

教育分野

一般社団法人川崎市子ども会連盟
大塚 謙一郎
花王株式会社川崎工場
ガールスカウト川崎市連絡会
川崎海洋少年団
川崎市青少年指導員連絡協議会
川崎市地域教育会議行政区議長会
川崎市地域女性連絡協議会
川崎市 PTA 連絡協議会
公益社団法人川崎市幼稚園協会
社会福祉法人青丘社
日本ボーイスカウト川崎地区協議会
認定特定非営利活動法人かわさき市民アカデミー
認定特定非営利活動法人教育活動総合サポートセンター

未来賞

文化・スポーツ分野

オリエンタルバイオシルバースター
KADOKAWA DREAMS
Kawasaki Kids Cheerleading Club BAMBIES
川崎新田ボクシングジム
KING OF SWAG
さぎぬまサッカークラブ
THE FLOORRIORZ
重野 秀一郎
信号器材株式会社
辻 沙絵
半井 重幸
富士通カワサキレッドスピリッツ
Mizutori Sports Club
湯浅 亜実

地域振興・まちづくり分野

NEC プロボノ倶楽部
小川 淳
川崎市立川崎高等学校附属中学校
川崎市立幸高等学校
川崎ワカモノ Lab

企画編集ユニット 6355（こすぎの大学）
新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアム
専修生田ボランティア（SIV）
特定非営利活動法人かわさきこども食堂ネットワーク
特定非営利活動法人幸区盛り上げ隊
Vege&ArtFes 実行委員会
武蔵小杉ライフ
明治大学ボランティアサークル LINKs

産業振興分野

協同組合高津工友会青年部「タカツクラフト」
キングスカイフロントネットワーク協議会

環境保全分野

NEC プラットフォームズ株式会社
岡上小学校 / 和光大学 地域連携研究センター 地域・流域共生フォーラム
川崎市立平間小学校
日本ロレアル株式会社

福祉・保健衛生分野

医療型障害児入所施設ソレイユ川崎
サポートセンターロンド
プロレスリング・ヒートアップ株式会社

教育分野

かわさき芽吹塾
認定特定非営利活動法人カタリバ

Colors,Future! 賞

石井 賢
川口 調
神保 虎之介
藤野 栞莉
まちびらき隊

～「川崎はすごい!」「最高に楽しかった!」という体験と記憶を残した祝賀イベント～

かわさき飛躍祭

2024年6月29日[土]
等々力緑地一帯



かわさき飛躍祭記者発表会(2024年2月20日)

前日の雨天から一転、束の間の梅雨の晴れ間のもとで、「かわさき飛躍祭」は開催されました。等々力球場での川崎ゆかりのアーティストによる音楽フェス「かわさき100フェス」、スポーツ体験や食のにぎわいイベント「アッと等々力フェス」、Uvanceとどろきスタジアム by Fujitsuでの「川崎フロンターレ市制100周年記念試合」に航空自衛隊ブルーインパルスの展示飛行が花を添え、一帯は18万人の人出でにぎわいました。

かわさき100フェス

@等々力球場

等々力球場を初めて音楽フェス会場とした「かわさき100フェス」では、詰めかけた9,000人の観客の歓声と、SHISHAMO、sumika、トゲナシトゲアリなど川崎ゆかりのアーティストの演奏で市制100周年をお祝いしました。

sumika

トップバッターのsumikaは、川崎話のMCも織り交ぜながら9曲を披露。演奏後には、川崎プレイブサンダースの3選手から花束が贈られました。



SHISHAMO

最初の楽曲「明日も」演奏中に、ブルーインパルスが会场上空を飛行!赤・緑・青の3色テープも空を舞い、会場は最高潮の盛り上がりとなりました。



僕らのホームタウン川崎で音楽フェスができたらどんなに嬉しいかと10数年思い続けていた中での等々力球場の初フェス。フェスが始まってからずっと夢みたいな時間でした。100年後に聞いても良いと思ってもらえるような音楽を残していきたいです!



トゲナシトゲアリ

川崎市を舞台にした「ガールズバンドクライ」の熱量を持ったまま、この大きなステージで初めての野外フェスができて、すごい幸せでした!



洗足学園音楽大学「フロントールズ」×川崎市消防音楽隊



©Sakata Yoshihiro (THINGS.)

記念すべき川崎市の100周年をライブでお祝いでできて光栄でした。生まれ育ったまちにたくさんの人が集まってくれて嬉しかったですし、絆をいつもより感じました。川崎のバンドSHISHAMOとしてこれからも頑張っていきます!

SHISHAMO×常田 真太郎(スキマスイッチ)×中村 憲剛

引退した中村憲剛さんのために、書き下ろした「天才の種」を初披露!



©Sakata Yoshihiro (THINGS.)

sumika
Lovers
Starting Over
ふっかつのじゅもん
雨天決行
MAGIC
イコール
マイリッチサマーブルース
「伝言歌」
運命

トゲナシトゲアリ
名もなき何もかも
偏つき偏つけ痛くて辛い
空の箱
誰にもなれない私だから
声なき魚
雑踏、僕らの街

洗足学園音楽大学
「フロントールズ」×
川崎市消防音楽隊
好きです かわさき 愛の街
ジャパニーズ・グラフィティII
YOUNG MAN (Y.M.C.A.)

SHISHAMO
明日も
君と夏フェス
私のままで
ハッピーエンド
夏恋注意報
最高速度

SHISHAMO×
常田真太郎
(スキマスイッチ)
全力少年
天才の種

川崎で生まれ育ち、一度しかない100周年に音楽で携われたことは一生の思い出です!これからも音楽の力で川崎を盛り上げていきたいです!

かわさき100フェス担当者
ユニバーサルミュージック 福島 優さん



「かわさき100フェス」全セットリスト

航空自衛隊ブルーインパルスが見事な展示飛行で、かわさき飛躍祭に花を添えました。入間基地を離陸後、麻生区、多摩区、宮前区の上空を通過し、フェス会場周辺を周回しながら華麗な演目を披露し、市内各地では、ブルーインパルスの飛行を楽しむ市民の姿が多く見られました。



ブルーインパルス
操縦席
360度映像!



川崎市市制100周年記念「かわさき飛躍祭」に航空自衛隊ブルーインパルスを招待いただきありがとうございます。川崎の記念すべき日と一緒にお祝いできたこと嬉しく思います。ブルーインパルス飛行隊長 2等空佐 江尻 卓さん



@/at

アッと等々力フェス

@等々力緑地内各所

「スポーツ」



山下千絵選手の「パラアスリートと走ろう」

富士通レッドウェーブの「バスケットボール教室」



「食」



川崎ゆかりの飲食店が多数出店

川崎産のお米を使用した100周年デザイン巨大バリエア



かわさき飛躍祭

100年に1度の経験、正直大変でしたが、素敵な仲間たちと一緒にだったのでやり切れました! 200周年も盛り上げます(笑)
アッと等々力フェス責任者 川崎とどろきパーク 林 宣彰さん



川崎フロンターレ 川崎市市制100周年記念試合

@Uvanceとどろきスタジアム by Fujitsu

試合開始前やハーフタイムのイベントで市制100周年をお祝いしました。選手たちは試合で熱い戦いを見せてくれました。

スペシャルステージ



航空自衛隊飛行隊長×中村憲剛FRO トークショー



マスコット撮影会

KADOKAWA DREAMS パフォーマンス



川崎フロンターレ vs サンフレッチェ広島戦



この試合、川崎フロンターレは、マルシーニョ選手のゴールで先制をしましたが、終盤に得点を許し、市制100周年の市制記念試合は、1対1のドローとなりました。

始球式&Y.M.C.A ハーフタイムショー



始球式を行ったのは川崎市出身の俳優市原隼人さん。ハーフタイムには、100フェスから駆け付けたSHISHAMO、トゲナシトゲアリなど川崎ゆかりの総勢280人によるY.M.C.Aハーフタイムショーでスタジアムを1周しました。



市制100周年記念試合を担当でき光栄でした。ファンサポーターの熱気もすごく、フロンターレとして、まちと共に歩む喜びを再認識した一日となりました!

市制100周年記念試合担当者
川崎フロンターレ 小笹 裕介さん



企画・運営メンバーが振り返る「かわさき飛躍祭」

イベントオーガナイザー 天野 春果さん



開催日は梅雨のど真ん中の6月29日。市制記念日が7月1日なので、この日しかないと感じて臨んだけど、天気予報に一喜一憂の毎日、前日は大雨、当日も開始直前で雨が降り、さすがにヒヤヒヤしましたね。でも晴れて良かった。かわさき飛躍祭は、音楽・スポーツなどの川崎のポテンシャルを掛け合わせて、そこにブルーインパルスが飛ぶという、これまでにない記憶に残るイベントに仕立てました。

SHISHAMOの代表曲「明日も」の間奏に合わせてブルーインパルスが球場の真上を飛び演出は、来場者へのサプライズでした。ブルーインパルスは1秒で200m進むので、こちらのリクエストに応えるには「コンマ何秒」の調整が必要で、「やりましょう」と応じてくれた航空自衛隊の方々には本当に感謝しかないです。演出がうまくいったとき、市の担当の

宮下さんと泣いて抱き合いました。この瞬間のために頑張ってきたので、何度も何度もガッツポーズしました。市の小池さん、金井さん、宮下さんは、イベントに向けて濃密に過ごした同志です。後で報道の映像などを見ると、多摩川土手から、小杉から、まちの駐車場から、市内のいろいろな場所からたくさんの市民が飛行を見上げていて、暗いニュースで下を向きがちな世の中に、空を見上げさせるブルーインパルスの力を感じました。

飛躍祭は、川崎の力を結集したから成功したと思うし、何よりも川崎のみんなが喜んでくれたことが一番嬉しいです。川崎で仕事をして27年、育ててもらった川崎に少しは恩返しできたかなと思っています。これから「川崎のまちをよくしたい」という志のあるメンバーと機会があれば一緒に仕事をしたいですね。川崎フロンターレに在籍時代からたくさんのイベントに関わってきたけど、100年に一度の今回は人生で一番嬉しかったです。みんなありがとう!



市担当の宮下さんと!

実行委員会事務局 金井 直彦さん(川崎市総務企画局 シティプロモーション推進室)

構想1年半、たくさんの関係者の強みを掛け合わせた、まさに100周年を体現する「飛躍祭」でした。直前期は30人規模の全体ミーティングや、連日の個別企画の膝詰め打合せを重ね、だいたいきつかったですが、当日等々力で楽しそうに過ごす来場者の姿を見たときは本当に嬉しかったです。またいつか等々力で飛躍祭がしたい!

